

車用ナット、インドで増産

長野製作所、地元企業に供給拡大

自動車用ネジ部品メーカーの長野製作所(静岡県沼津市)は自動車用のブレーキや油圧配管に使われるフレアナットを、インドの生産拠点で増産する。また、自社の加工技術を活用できる新たな事業領域にも進出し、2026年3月期に約30億円だった単体売上高を34年同期末には101億円まで伸ばす計画だ。

同社の主力製品はフレアナットで、世界市場の約25%を占めるという。特に成長のけん引役と期待するのが17年操業のインドの生産拠点「Nagano India Private Limited」だ。現在は主に現地の日系自動車関連メーカー向けに供給しているが、今後はローカルメーカーへの供給も拡大を目指す、本格的な量産

体制に入る。インドでのフレアナットの生産量は、拠点設立当初は月産2万13万個にとどまっていた。その後、生産能力を拡張して、現在は月産50万個まで拡大しており、34年3月期までには月産300万個までに伸ばす方針だ。約3億円投じて生産設備を増強していく。

技術活用、新分野も開拓

34年3月期、売上高100億円

インド拠点での生産強化と同時に、本社工場で生産するフレアナットのインドへの輸出も増やす。国内でのフレアナットの売上高は現在30億円程度だが、34年3月期には45億円程度まで積み増せると見込んでいる。

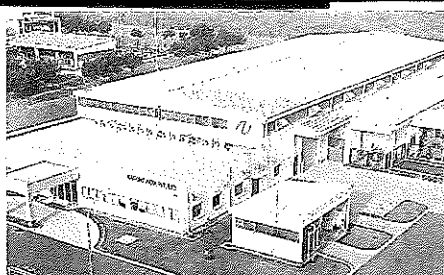
同社は今後も自動車部品事業を経営基盤として、工した部品は半導体製造装置や医療機器、航空宇宙

つ、景気や市場構造の変化に左右されにくい複数の収益源を育成し、自動車分野への過度の依存を低減する。

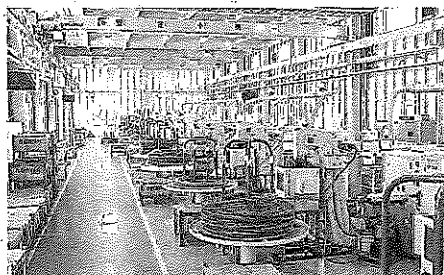
具体的には自動車部品で培った高精度加工・大量生産・自動化・品質保証の技術を活用し、新たな成長市場の半導体製造装置や産業用ロボット、医療機器などの分野での新製品開発につなげる。

本社工場では、静岡県による売上高100億円を目指す県内中小企業の成長投資を支援する「中小企業等収益力向上事業費補助金(成長加速化枠)」を活用し、年内にも複雑な加工ができる工作機械の「5軸マシンングセンタ」を稼働させる予定だ。新しく導入する設備によって、同社がこれまで手掛けてこなかった工程にも対応できるようになる。

同社は1946年創業。冷間圧造を中核とした高精度ネジ加工技術と、高耐圧・高気密の流体接続技術を強みとし、主力製品の自動車配管用フレアナットは月産3500万個以上(自動車換算で300万台分)に達する。日系自動車メーカーでのシェアは約70%となっている。

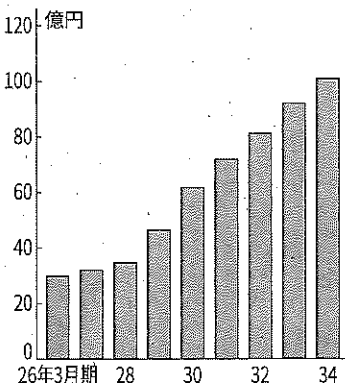


2034年3月期までにインド拠点で約3億円の設備投資を進め生産能力を増強する(インド・ラジャスタン州)



長野製作所は自動車配管用フレアナットの生産で世界シェア約25%を占める(静岡県沼津市)

長野製作所の目標売上高(単体)



(注)26年3月期は実績